



2 (日)

だれもふせぐことができない

ほうほう 方法で、ソロモンが 王になりました

1 列王 1:32~37 | 「祭司ツァドクと預言者ナタンは、そこで彼に油をそそいでイスラエルの王と
しなさい。そして、角笛を吹き鳴らし、
『ソロモン王。ばんざい。』と叫びなさい。
それから、彼に従って上って来なさい。彼は来て、
私の王座に着き、彼が私に代わって王となる。
私は彼をイスラエルとユダの君主に任命した。」
(34~35)

1. だれも考えることができないことを 神様はダビデを通じてなさいました

- (1) 神様はサムエルに、ダビデを訪ねて行って
王になると知らせて、油を注ぎなさいと
言われました(1サムエル 16:1~13)



- (2) 数多くの軍人を差しおいて、若いダビデが
ゴリヤテを倒すように働かれました(1サムエル 17:1~47)
- (3) ダビデをサウル王の手から救って、王に立て、
神殿を準備するようにされました(1歴代 29:10~14)

2. 神様は考えることもできない人物であるソロモンを ダビデの後の王になるようにされました

- (1) ソロモンは、ウリヤの妻であるバテ・シェバを
通して生まれたダビデの子孫です(サムエル 11:2~5)
- (2) ナタンの叱責を受けて生まれた2番目の息子です(1列王 1:32~37)
- (3) ソロモンの子孫を通して神様はメシヤを送られました
(マタイ 1:6、ルカ 3:31)

3. 神様の召しは、人の知恵では判断できません

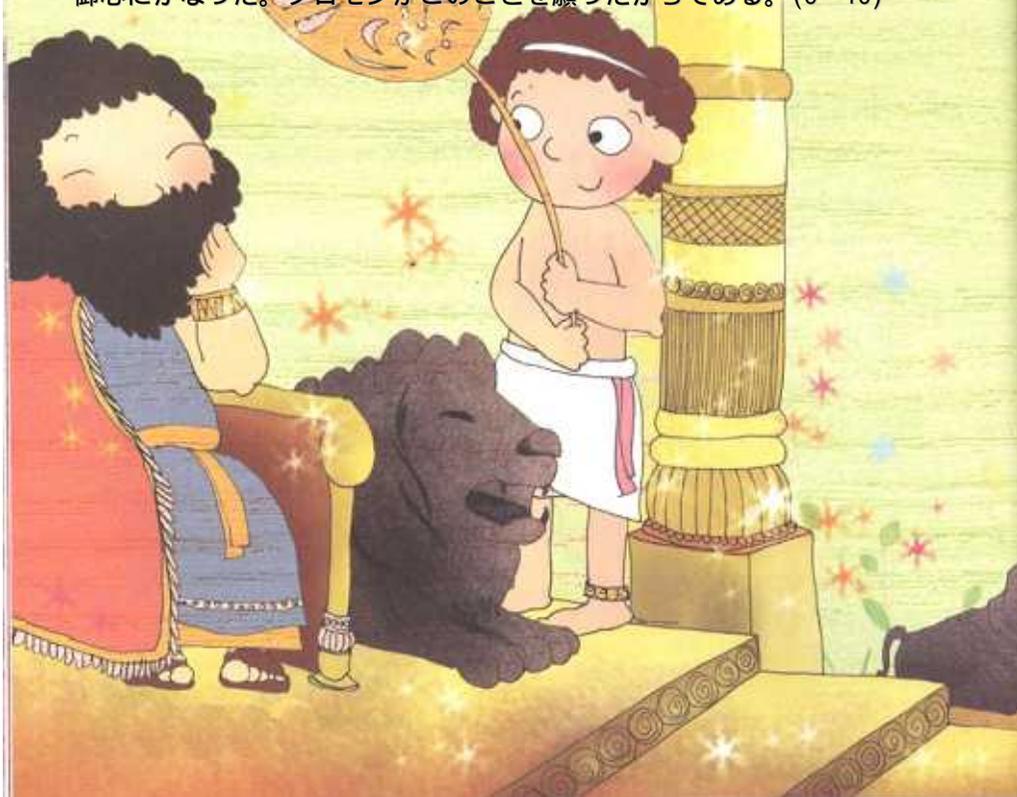
- (1) メシヤの家系図を見れば、神様は長男より次男を
用いられ、重要な時刻表に女の人を用いられました
(マタイ 1:1~25)
- (2) 神様が召された十二人の使徒は漁師出身で、たくさん
学んだり、優秀な人たちではありませんでした
(マルコ 3:13~15)
- (3) パウロ時代の伝道者たちも、
やはり弱い人々でした(1コリント 1:18~31)



9(日)

ソロモン王が神様に もとめた祈りは なんだったのでしょうか

1列王 3:4~15 | 「善悪を判断してあなたの民をさばくために聞き分ける心をしもべに与えてください。さもなければ、だれに、このおびただしいあなたの民をさばくことができるでしょうか。」この願い事は主の御心にかなった。ソロモンがこのことを願ったからである。(9~10)



せんしゃ 千四百
* 戦車
きへい 一万二千
* 騎兵
うまや 四千
* 馬屋
しんげん 三千の箴言
* 千五百首の
さんび 讃美の詩



1. ソロモン王はスタートを正しくしました

- (1) サウル王は、権力を好みました(Iサムエル 18:1~17)
- (2) アハブ王は、肉的なことだけを求めました(I列王 19:1~7)
- (3) ヘロデ王は、名誉だけを願いました(使徒 12:23~25)

2. ソロモン王は神様に知恵を求めました

- (1) 神様に一千頭の全焼のいけにえをささげました(I列王 3:4~15)
- (2) 裁判をするとき、知恵深く判決をくださいました(I列王 3:16~28)
- (3) すべての王を合わせた知恵よりすぐれていました(I列王 4:29~34)

3. 神様は中心が正しいソロモン王に、求めないことまですべて与えられました

- (1) 多くの富を与えてくださいました
- (2) ソロモン王がしたことを記録で残しました(I列王 11:41)
- (3) ソロモン王の名前を3つの池につけました
- (4) 回廊を作り、国を豊かに、かたくさせました

16 (日)

ソロモン王は^{わす}忘れられない 業績^{ぎょうせき}を残^{のこ}しました

1列王 8:15~21 | 主は、お告げになった約束を果たされたので、
私は父ダビデに代わって立ち、主の約束どおりイスラエルの
王座に着いた。そして、イスラエルの神、主の名のために、
この宮を建て、(20)

1. 神様の時代的計画をなしとげる中に、すべてのことがみな入っています

- (1) サムエルは、契約の箱のそばに横になってビジョンを夢見しました (Iサムエル 3:1~18)
- (2) ダビデは契約の箱の奥義を伝えてもらいました (Iサムエル 16:1~13)
- (3) ダビデはソロモンに契約の箱と神殿の建築を指示しました (I歴代 28:1~21)

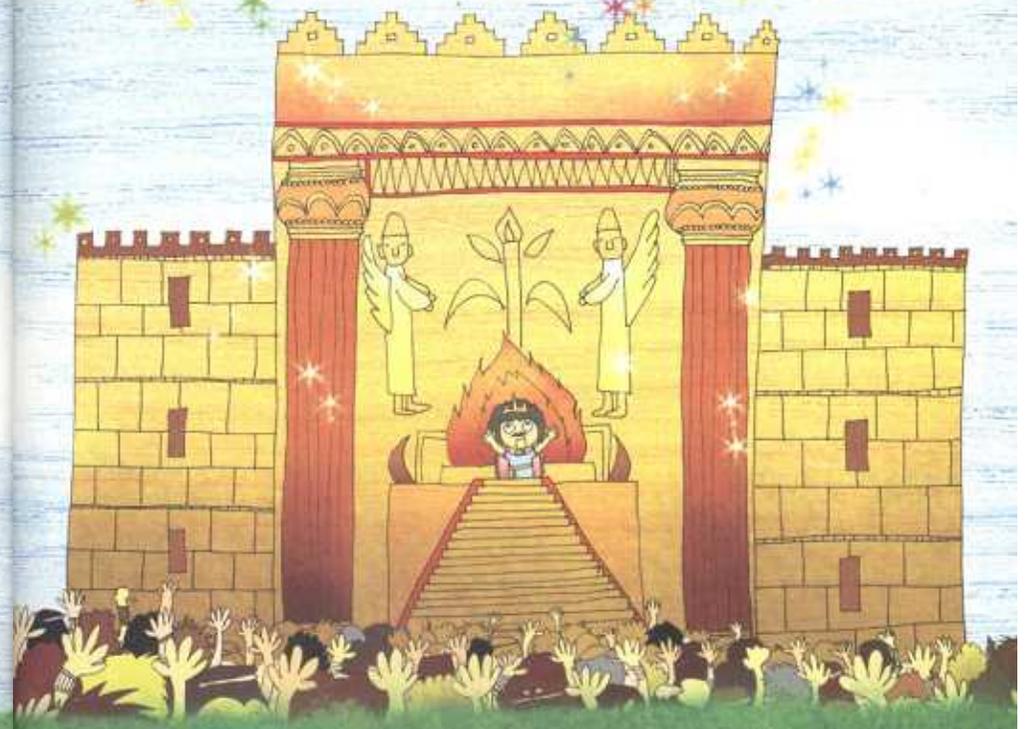
2. ソロモン王は最初に神殿を作る祝福を味わいました

- (1) ダビデの思いに従って神殿の準備を徹底的にしました (I列王 5:13~18)
- (2) 最高の働きである最初の神殿を完成して、契約の箱を移しました (I列王 6:1~10、8:1~9)
- (3) 神殿を神様にささげ(献堂)、イスラエルの民の前に演説(献堂史)をしました (I列王 8:10~21)

- (4) 胸にある祈りと民に向かった祝福と勤めは、イスラエルの最高の栄光になりました (I列王 8:22~53、54~61)。

3. 正しい福音と正しい契約、正しい神殿を作ったら、これより大きい祝福はないでしょう

- (1) サムエルの言葉は一つも地に落ちませんでした (Iサムエル 3:19)
- (2) 羊を飼う牧者として、ダビデは王になる準備をしました (詩 23:1~6)
- (3) 神様は、ソロモンを通じて、イスラエル最高の栄光を受けられました (I列王 8:10~14)



子どもが分からなければならぬ列王記第一の重要な研究



23 (日)

ソロモン王は最後になって 大きな失敗をしました

I 列王 11:1 ~ 10 | ソロモンが年をとったとき、その妻たちが彼の心をほかの神々のほうへ向けたので、彼の心は、父ダビデの心とは違って、彼の神、主と全く一つにはなっていなかった。(4)

1. 真の成功が何かを分からなければなりません

- (1) 快樂につながる成功は、真の成功ではありません
- (2) 神様の計画をなすことが真の成功です
- (3) 神様の恵みを最後まで味わうことが成功者の人生です

2. ソロモン王は真の成功に失敗しました

- (1) 豊かな祝福が * ぜいたくに変わりました (I 列王 10:14 ~ 19)

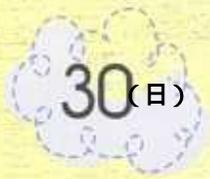
- (2) 名譽と人気は、異邦人の女性に会うことで変わってしまいました (I 列王 3:1 ~ 3、11:1 ~ 3)
- (3) エルサレム全域に偶像が立つようになりました (I 列王 11:1 ~ 10)
- (4) イスラエルが分裂すると預言されました (I 列王 11:11 ~ 13)
- (5) ソロモン王に反対する人 (反逆者) が起きはじめました (I 列王 11:14 ~ 40)

3. 私たちは新しい覚悟をしなければなりません

- (1) ほかのことより、みことばを正しく握らなければなりません (伝 12:11)
- (2) 答えより、救いの祝福を味わわなければなりません (伝 12:1 ~ 10)
- (3) 働きより、神様の計画をかたく握らなければなりません (伝 1:12 ~ 18)

- * ぜいたく：必要以上のお金や物を使って、自分に合わない生活をする
- * 異邦人の女性：ほかの国の女の人





30(日)

福音を正しく味わわない
ならば、ソロモン王以後に
起きた事件と同じ
ことが起きます

I 列王 22:51 ~ 53 | 彼は主の目の前に悪を行ない、彼の父の道と彼の
母の道、それに、イスラエルに罪を犯させたネバテの子ヤロブアムの
道に歩んだ。すなわち、彼はパアルに仕え、それを拝み、彼の父が
行なつたと全く同じように行なつて、イスラエルの神、主の怒りを
引き起こした。(52 ~ 53)



1. 重要な教訓を大事に保管しなければなりません

- (1) 神様をのがせば、世の中をのがすようになり
ます(I 列王 22:51 ~ 53)
- (2) 契約をのがせば、
私をのがすようになり
ます(伝 1:1 ~ 11)
- (3) 救い(福音)をのがせば、
未来をのがすようになり
ます(伝 1:12 ~ 18)

2. ソロモン以後に深刻なことが起きました

- (1) 国が2つに分かれました(I 列王 11:29 ~ 40)
- (2) 南側のユダにヒゼキヤとヨシヤのような王が
出ましたが、一瞬の改革で終わって
しまいました(列王 19:14 ~ 35)
- (3) 北側のイスラエルにはアハブのような悪い王が
出て、続いて悪を行いました(I 列王 19:1 ~ 7)
- (4) 結局、北側のイスラエルは最後の王ホセア王の
時、アッシリヤによって崩壊し、南側のユダは
ゼデキヤ王の時、バビロンの捕虜に
なりました(列王 25:1 ~ 21)

3. 人生の終わりに書いた記録に、ソロモン王の後悔と悔い改めが
残されています

- (1) 人生が空になること、日(太陽)の下には新しいことはひとつも
ないと告白しました(伝 1:2)
- (2) 栄華、名誉、功労もむなしなことだと告白しました(伝 4:7 ~ 10)
- (3) ただ主だけが真実であると告白しました(伝 12:1 ~ 10)